

(様式2)

公立大学法人青森公立大学

平成21年度 業務実績評価書

平成21年8月

青森市地方独立行政法人評価委員会

目 次

I	評価の基本的な考え方	1 頁
II	全体評価	
1	総評	3 頁
2	業務の実施状況	4 頁
3	組織、業務運営等に係る改善事項等	5 頁
III	項目別評価	
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	5 頁
2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	6 頁
3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	6 頁
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	7 頁
5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	7 頁
6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	8 頁
7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	8 頁

I 評価の基本的な考え方等

青森市地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、公立大学法人青森公立大学（以下「法人」という。）の平成21年度における業務実績について評価を行った。

評価の実施に当たっては、法人の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

1 項目別評価

調査・分析の結果を踏まえ、中期計画の次の事項（以下「大項目」という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的な進捗状況を評価する。

【大項目】

- ①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- ②教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- ③教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- ⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- ⑥自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- ⑦その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

【5段階評価】

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成21年度における業務実績の全体について、記述式により市民がわかりやすい総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

3 青森市地方独立行政法人評価委員会委員

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	林 光男	青森商工会議所会頭
委 員	木下 智博	日本銀行青森支店長
委 員	塩越 隆雄	株式会社東奥日報社社長
委 員	井畑 明男	社団法人青森県経営者協会会長
委 員	石田 隆志	日本労働組合総連合会青森県連合会会長

前 委 員	鶴海 誠一	前日本銀行青森支店長
-------	-------	------------

※平成22年6月7日辞任

II 全体評価

1 総評

公立大学法人青森公立大学は、経営経済の分野の諸問題について地域性を軸にした理論的・実証的研究を推進し、その研究成果に基づいて、広く社会に有為な人材を輩出し、更には大学が存在する地域を中心として国内外に大学が持つ知財を還元し、貢献するという使命を帯びている。

平成21年度は、公立大学法人として最初の事業年度であり、理事長、副理事長のリーダーシップのもと、本学に求められている使命を明確に果たすための運営体制が整えられ、特色ある教育・高い研究水準・実践的な地域に密着した貢献という基本事業に関する戦略的な取組みが行われるとともに、業務運営の改善及び効率化等により利益を上げるなど、全学一丸となつての取組みが行われている。

取組みの中では、文部科学省の「組織的な大学院教育推進プログラム」に採択され、平成20年度から平成22年度までの期間で実施している「社会人に配慮した経営経済系の現場型教育」の事業により、社会人に配慮したWeb会議による遠隔授業の試行を開始するなど、この教育体制の構築により、社会人教育の充実はもとより、地域貢献活動にも寄与することが見込まれるなど、高く評価できる取組みと認められる。

また、地域貢献活動は、公開講座などによる研究活動の地域還元、エクステンション教育による社会人教育等の地域貢献活動は計画を上回って実施されるなど、積極的な取組みと認められる。

一方、評価の基準となる年度計画については、内容をより中期計画に即したものにするとともに、達成目標は、実施の有無や回数のみではなく、業務の質を表す指標・実施内容を検討すべきと思われる。

総じていえば、全教職員、学生が目標を共通認識し、それに向かっている姿がうかがえるものであり、中期計画の目標達成が期待できるものである。

2 業務の実施状況

全体として、年度計画に定めた実施項目は着実に実施されており、大項目として定めている教育、研究、地域貢献、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供、その他業務運営の7つの各大項目において、特に大きな問題は見られない。業務の実施状況は、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

大学の教育研究等の質の向上に関しては、就職内定率の低下に歯止めをかけるため、専任職員を配置するなどキャリア支援体制を強化し、就職先の新規開拓をするなど迅速に対応したこと、新入生に対するリメディアル教育やガイダンス、学生による授業評価を見直したことなど、様々な学生に対する取組みに対して、大学としての責任と意欲を高く評価する。

地域貢献に関しては、エクステンション教育による社会人教育、大学間連携による地域の高等教育のレベル向上、高大連携活動は着実に実施されている。

また、国際芸術センターを活用した教育プログラム、公開講座等の研究成果の地域への還元は、計画を上回って実施されるなど、地域への貢献度も高く評価される。

業務運営の改善及び効率化に関しては、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定するとともに、そのポリシーに基づく教育課程の再編や人事委員会を設置するなど人事制度の整備が着実に進められている。

財務内容の改善に関しては、受験生の確保や外部資金の獲得に向けた積極的な取組み、経費節減への取組みを着実に実施している。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関しては、平成23年度の認証評価機関による第三者評価に向けた準備によく対応している。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

Ⅲ 項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>学生の育成に関して、学部においては、入学者の受入方針を明確にするためのアドミッション・ポリシー、教育方針を明確にするためのカリキュラム・ポリシー、卒業認定・学位授与方針を明確にするためのディプロマ・ポリシーを策定し、法人化後における青森公立大学の「教育に責任をもつ」という教育重視の方針を明確にするとともに、大学院においても、3つのポリシーの明確化が最終段階まで進んだことは評価できるものである。</p> <p>また、大学院においては、「大学院教育改革支援プログラム」を活用し、社会人のリカレント教育を充実させるためのWeb会議による遠隔授業の試行、論文審査の2回化など、実践できるものはすぐ取り入れ、次年度以降の教育の実施体制を充実させたことは、大学院課程及び社会人の教育の質の向上において評価できるものである。</p> <p>学生への支援に関しては、全国的に就職率が低迷していることから、キャリア支援対策の強化や就職先の新規開拓による県内就職率の上昇は、大学間の競争率向上や入学希望者の増加につながるものとして評価できるものである。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>研究水準及び研究成果に関して、地域に貢献する高等教育機関としての機能を発揮するため、計画以上に公開講座を実施し、積極的に研究成果を社会に還元したことは評価できるものである。</p> <p>また、学内における研究費制度について、実績主義・プロジェクト方式の導入など、研究に対するインセンティブを高める仕組みづくりに向けた検討は、研究の質の向上だけではなく、結果として、科学研究費の採択数、獲得金額の増加につながることから、財務内容の改善においても評価できるものである。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>地域連携の強化に関して、エクステンション教育による社会人教育の充実、単位互換協定の締結など大学間連携による地域の高等教育のレベル向上、高校生を対象とした出前講座等の実施、オープンキャンパスの充実など高大連携活動は着実に実施されている。</p> <p>情報提供に関して、掲載情報の一部リニューアルを実施するなど、市民がわかりやすいホームページの運用が進められている。今後は、教員や学生と直接交流する機会の拡大や大学施設の開放に向け、地域社会に対する情報発信が積極的になされることが期待される。</p> <p>また、地域の企業、行政機関等との連携については、今後とも、大学が持つ知財を還元し、貢献するという使命を果たすべく、積極的な連携が求められる。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>教育研究組織の見直しに関して、3つのポリシーの策定に基づく教育課程の改編作業を開始した。</p> <p>人事の適正化に関して、人事の公平性を担保するとともに、柔軟かつ迅速な人事を行うため、人事委員会を設置し、人事案件を適切に処理している。また、一般公募による事務職員の採用試験を実施するなど、将来の法人運営を支える計画的な人材の確保が進んでいる。</p> <p>人事の評価に当たっては、科学的な評価にとらわれ過ぎない配慮が求められる。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>外部研究資金その他の自己収入の増加に関して、受験生の確保のため、新たに県外の高校にも訪問し、入学選抜に関する情報提供等を行った。また、奨学寄附金の受入体制の整備のため規程を制定し、奨学寄附金を受け入れた。今後も、研究の質の向上に関する取組みを推進しつつ、社会の経済状況の変化を見極めながら外部研究資金の獲得を目指すとともに、奨学寄附金等の実績を伸ばす積極的な対策が求められる。</p> <p>経費の抑制に関して、将来ますます厳しくなる財務状況を見据え、職員が一丸となって契約方法を見直すなど、効率的な予算の執行に取り組んでいる。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>評価の充実に関して、教員の目標設定による自己評価制度の実施に向け、自己評価基準の検討を開始した。</p> <p>また、平成23年度の外部認証評価に向け、外部認証評価準備委員会を設置し、自己点検作業に着手したほか、その後の各種評価結果の活用と情報提供をも踏まえた検討が行われており、認証評価機関による第三者評価に向けた準備によく対応していることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>安全管理に関して、危機管理体制の確認のため、防災訓練や講習会の開催によって、意識啓発が図られている。</p> <p>人権啓発に関して、各種ハラスメントの防止体制と相談体制を改善し、全学的に周知徹底するなど、人権教育の推進が着実に進められている。</p> <p>このような組織として基本的に整備すべきものについては、今後更に充実したものとなることが期待される。</p> <p>その他に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			